

# 带状疱疹ワクチン任意接種

## 費用の一部を助成します

令和7年度より带状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づく定期予防接種になりましたが、対象者が年齢によって限定されています。定期接種対象外の方は任意接種として接種可能で、接種費用の一部助成を行っています。

### 【助成の内容】

対象者	標茶町に住民票があり、接種日に <b>満50歳以上</b> の方 (定期接種対象者は除きます)
接種医療機関	<b>標茶町立病院</b> *施設入所者や長期入院されている方は、ご相談ください。



	生ワクチン（水痘ワクチン）	不活化ワクチン（シングリックス）
接種回数	1回	2回（2回目は2か月後、おそくても6か月までには接種）
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
発症予防効果	約50～70%	約90～97%
持続期間	5年程度	10年以上
副反応	◇頻度10%以上 発赤44%、掻痒感27.4%、熱感18.5% 腫脹17%、疼痛14.7%、硬結13.5% ◇重大な副反応（いずれも頻度不明） アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎	◇頻度10%以上 疼痛79.1%、発赤37.4%、腫脹24.2% 胃腸症状12%、頭痛28.3%、筋肉痛36.9% ◇重大な副反応（いずれも頻度不明） ショック、アナフィラキシー
自己負担額	<b>4,500円</b>	<b>1回目：1万円 2回目：1万円</b>
生活保護受給者はどちらのワクチンでも無料です。（事前に申請が必要です）		

\* ワクチン効果の持続期間や副反応の出現状況は個人差があります。

\* お問い合わせ先 \*

標茶町ふれあい交流センター内 健康推進係  
☎015-485-1000

申し込みの  
流れは  
裏面参照



## 带状疱疹とは？

子どもの頃に感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。水ぼうそうが治った後もウイルスが神経節に潜んでおり、加齢や病気、ストレスなど免疫力が低下した時に再び活性化して带状疱疹を発症します。

主な症状は体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが带状に現れます。

皮膚症状が治った後も「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる痛みが長期間続くこともあります。带状疱疹は50代から増加し、80歳までに3人に1人が带状疱疹を経験すると推定されています。

## 申し込みの流れ

- ① 接種希望日の1週間前までに予約してください。  
予約先：標茶町立病院（☎015-485-2135）
- ② 町立病院へ予約後、予診票等が送られてきます。
- ③ 予約日に町立病院で自己負担額を支払い、接種します。

<生活保護受給者の方>

予約する前に必ず、健康推進係に無料接種券の申請を行ってください。  
申請受理後、無料接種券を発行しますので、日にちに余裕をもって申請してください。

## 带状疱疹ワクチンQ&A

- Q1** 带状疱疹を発症したことのある人は、ワクチン接種できますか？  
**A** 带状疱疹は再発する場合もあるので、過去にかかったことのある人もワクチン接種は可能です。
- Q2** 標茶町立病院以外で接種しても助成の対象になりますか？  
**A** 助成の対象にはなりません。ただし、長期入院されている方や、施設に入所されている方は、助成の対象になる場合がありますので、健康推進係へお問い合わせください。

\*お問い合わせ先\*

標茶町ふれあい交流センター内 健康推進係

☎015-485-1000